

民生福祉常任委員会審査日程

日 時 令和4年9月8日(木)
午前9時
場 所 第2委員会室

～審査内容～

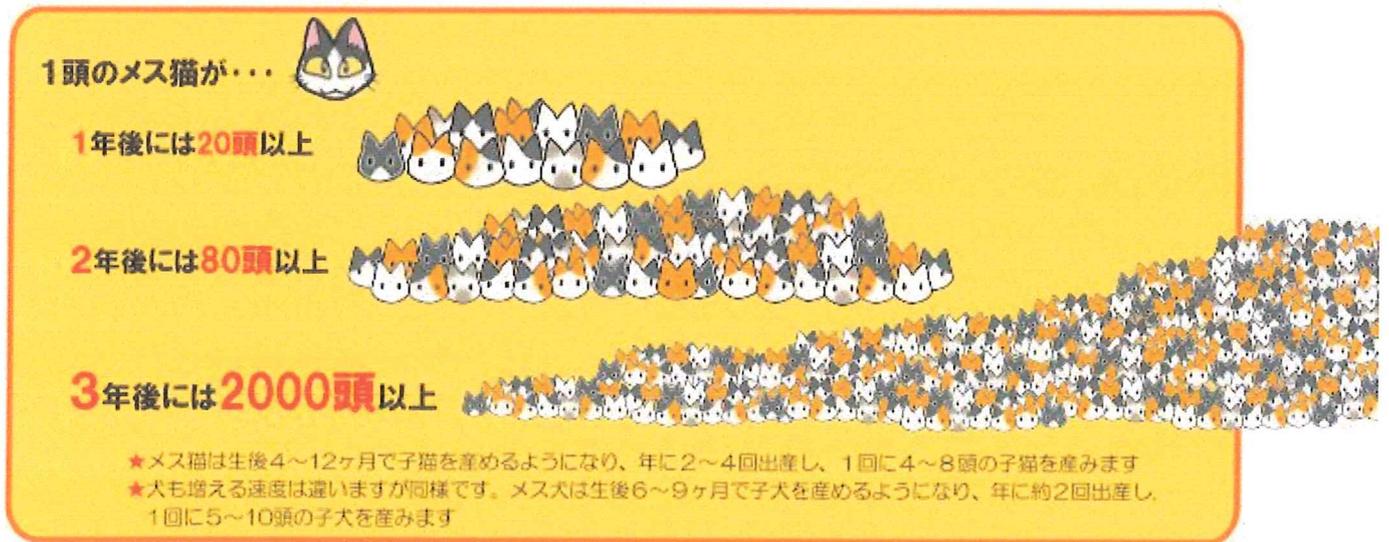
- 1 請願第4号 飼い主のいない猫の不妊、去勢手術費に対する支援補助金の創設を求める請願書

請願の趣旨

飼い主のいない猫をかわいそうに思って餌を与える人がいる一方で、糞尿被害や鳴き声など、地域での苦情や住民トラブルが多く寄せられています。

地域猫活動とは、そうした『猫に迷惑している人』と『猫を助きたい人』の双方から話を聞き、地域住民・ボランティア・行政が協力しあって問題解決を図るという活動です。飼い主のいない猫の問題は、環境問題であり、人と人との問題でもあります。

無責任に猫に餌を与えると、糞尿被害だけでなくたくさんの子猫が生まれ、地域住民のストレスや悩みが増え続けることとなります。



※環境省パンフレット「もっと飼いたい？」より

- ・江汐公園に 20 匹
- ・竜王山や本山に 30 匹
- ・須恵健康公園に 20 匹
- ・高千帆台に 20 匹
- ・図書館近辺に 20 匹
- ・小野田港駅付近に 10 匹
- ・某ドライブインに 30 匹以上
- ・叶松・刈谷地区からも多頭飼育のご相談があります。

現在、避妊去勢手術にかかる費用を、各ボランティアは自己負担している為、全員が地域猫活動の出費の限界に直面しています。しかし、外で生活する猫に避妊去勢手術をせず、放置すれば猫は増え続けるばかりです。

全国的にも、殺処分0を目指していることから、以前のように動物愛護センターでは安易な猫の引き取りをしない為、子猫は成猫となり、また出産を繰り返します。この状況を改善するためには、猫の避妊去勢手術が必要なのです。

※手術をすると

- ・不幸な子猫たちが生まれません
- ・尿臭が薄くなり、スプレー行動も減る
- ・発情期の嫌な鳴き声が減少
- ・行動範囲が狭くなり、地域猫として管理しやすくなる
- ・糞尿被害などの問題も減少し、環境改善、住民の安心な生活が守られる

野良猫が減ることで、ロードキル（道路上で起こる動物の死亡事故）も減り、行政の方のつらい仕事も減らすことができます。“猫は全て室内飼育”を徹底し、外にいる猫（飼い主のいない猫）の避妊去勢手術を推進していくことが早急に求められます。

猫の避妊去勢手術の補助金制度が創設すると、地域猫活動に関心が高まり、住民の方も積極的にこの活動に取り組めるようになります。

山陽小野田市住民は、宇部市や下関市の猫ボランティア団体に相談し助けてもらっているのが現状です。

他市の助成金制度

宇部市 年間予算 400万

登録団体補助金	上限 20 万	
飼い主のいない猫	オス 5,000 円	メス 10,000 円

下関市 年間予算 180万

飼い猫	オス 3,000 円	メス 5,000 円
飼い主のいない猫	オス 5,000 円	メス 7,000 円
地域猫	オス 6,000 円	メス 10,000 円

防府市 年間予算 200万

個人	3,000 円
登録団体	補助対象手術経費の実支出額とし、1件につき15,000円を限度とする

山口市 年間予算 120万

個人	オス 5,000 円	メス 10,000 円
登録団体	オス 5,000 円	メス 10,000 円
自治体・地域猫	オス 10000 円	メス 20,000 円

行政と市民、ボランティアが一丸となって、人と動物が共生できる、子供たちに優しさや夢や希望を与えられる山陽小野田市になるよう 動物愛護活動にご支援賜りますよう、よろしく願いいたします。

スマイル Cats 代表 吉村 美栄・副代表 吉田 裕美子